

早春の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。コミュニケーション活動の一環として会員各位の相互理解をより一層深める一方策として、平成26年度から企業訪問を開始し、今回で22回を向かえました。企業訪問を通じて、会員相互の理解活動に少しでも貢献できればと思います。今回は2月20日に**日本原子力防護システムさん**を訪問しました。皆さんが廃炉に向けて作業に取り組まれている状況を報告いたします。



広野事務所 磯貝所長からの一言



当社は、日本で初めての、原子力施設の安全を守るための専門会社として、1977（昭和52）年に設立され、今日まで42年間にわたり、国内外の脅威から原子力施設の安全を守る業務を続けてまいりました。震災後、福島第一原子力発電所の警備及び設備保守を行う広野事務所を2013年に広野町に設置して、以来6年間1Fのために奮闘しているところでございます。

福島第二事務所 田中所長からの一言



現在、福島第二事務所は、福島第二の企業棟B棟1階の事務所を拠点として、発電所の警備業務、防護設備の保守等に携わっています。福島第二原子力発電所は、廃止措置（廃炉）へと新たなステージに移行していきます。引き続き、所員全員が核セキュリティの向上並びに原子力安全文化醸成活動に努め、安全第一で業務を遂行していきます。

業務品質向上

げんぼうクオリティコンテスト

防護隊員の業務遂行力を競い合うことでモチベーションを高め合い、お客様に提供する業務品質の向上を図っています。



ピアレビュー

他事業所間で仲間や同僚、経験やノウハウを活用しながら、診断・評価しあう活動を行っています。



朝礼風景

A 発電所防護隊



B 発電所防護隊

C 発電所防護隊

知識・技能向上



海外からテロ対策の専門家を招き、テロリストについて総合的な講義を実施して頂きました。

コミュニケーション



協力企業さんと合同でBBQ！

編集後記

今回の発刊に当たり、広野事務所の磯貝所長と福島第二事務所の田中所長、幹事の長谷川様にご協力いただき、日本原子力防護システムさんの取り組みをご紹介いただきました。様々な社会情勢において原子力施設に対する核セキュリティ強化の動きがある中で、大変お忙しいところご対応いただきありがとうございました。今後も会員企業間の相互理解促進のため、加盟各社様の取り組み状況を紹介してまいりたいと思います。



発行責任者；事務局長 中島純一
TEL:0240-23-6940
FAX:0240-23-6942